

教科名	技術	週時間数	1	学年	2
使用教科書 及び 副教材等	教科書 新しい技術・家庭／技術 分野 東京書籍				

指導の重点 (確かな学力)	「課題発見能力」 「課題解決力」 「知識・技能」		
学習のねらい	よりよい生活をしていくために、生活に必要な知識や技術を理解し、生活の中の様々な課題を解決する方法を学ぶ。実習をとおして体験的に学習を行い、その過程で生活を工夫し、創造する能力やものをつくる技術を身につける。そして、学習した知識や技術を応用して、自分の生活に取り入れようとする態度を身につける。		
学習の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プリントをまとめながら、生活と技術のかかわりや技術の役割について考える。</li> <li>・実験・実習において、準備・作業・片付け等、班で協力して進める。</li> <li>・実習において、工具を適切かつ安全に使用し、工夫しながら製作に取り組む。</li> </ul>		
定期考査	出題方針	「生物育成」においては、生物を育てる技術の特徴や目的や条件に応じた栽培の適切な管理について出題する。 「情報」においては、情報通信ネットワークやコンピュータの仕組みと特徴を学び、情報モラルについて出題する。 また、テスト1週間前にテストについて必要な事項を記載した補足プリントを配布する。	
	範囲 (予定)	1・2学期中間	なし
		1学期期末	生物の育成
		2学期期末	情報の技術
学年末	情報の技術		
評価観点 評価方法	知識・技能	授業の取組、定期テスト、作品	
	思考力・判断力・表現力	定期テスト、プリント・レポート、作品	
	主体的に学習に取り組む態度	授業の取組、振り返り等レポート、作品	
学習方法	各課題についての説明をよく聞き、個人や班で実習を進める。授業の最後にまとめる授業の振り返りを徹底し、学習内容の確認をする。特に実習面においては、「安全」に作業するための必要事項を確認する。		

年間授業計画書

学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
1	4	生物を育てる技術の特徴	人・生物・環境の特徴 植物を育てる技術 生物の育成	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>生物を育てる目的</li> <li>生物を育てる技術</li> </ul>
	5 6 7	生物の育成計画と栽培	ミニトマトの栽培	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>品種選び</li> <li>ミニトマトの育成計画</li> <li>土の構造</li> <li>定植・誘引</li> <li>管理作業</li> <li>肥料について</li> <li>収穫</li> <li>糖度測定</li> <li>まとめ</li> </ul>
2	9 10	コンピュータと情報通信ネットワークの活用	生活の中の情報技術 つながるコンピュータ コンピュータの仕組み 情報セキュリティと情報モラル	4 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイピング練習</li> <li>コンピュータの機能</li> <li>ハードとソフトウェア</li> <li>コンピュータへの取り組み</li> <li>情報通信ネットワークの仕組み</li> <li>ネットモラル</li> <li>ソフトウェア作業</li> </ul>
	11 12	双方向性のあるコンテンツ	双方向性のあるコンテンツの技術 双方向性のあるコンテンツの設計	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>双方向性のあるコンテンツのプログラミング</li> </ul>
3	1 2 3	計測制御システム	計測・制御システムの技術  計測・制御システムの製作	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>計測・制御システムの設計の仕方と製作</li> </ul>